

PBSP-SIO のプッシュスイッチおよび、入出力接点の動作モードは使用方法によって syscnfg.ini ファイルにて SPPSW を設定します。

○ SPPSW プッシュスイッチ用設定値 “TOGGLE” “SWON”

＜接続・切断の制御可能＞	
SPPSW TOGGLE	プッシュスイッチを押すことで、接続・切断が可能。発信時の接続先はセレクタースイッチの指示位置による。「DLYCONN」パラメータが有効になるので、設定秒数が経過すると自動着信となる。また自動着信前に、プッシュスイッチでの着信も可能。
＜接続時のみ制御可能、切断はリモートからのみ＞	
SPPSW SWON	プッシュスイッチでの接続制御のみ可能。発信時はプッシュスイッチを押すと発信が可能。呼出し中での断はできないので誤操作に要注意。 着信時は、DLYCONN が有効になるため自動着信となる。 切断はリモートからしか行えず、接続先からの切断(電話機の ONHOOK や相手の入力接点オープン)か、ハイパーターミナル等からの HOOK コマンドで切断。 ※PBSP でマイク・スピーカー同士で接続する運用で、どちらか一方を SWON にした時は、もう一方は TOGGLE か MSIG にすることを推奨。発着信どちらも MSIGON と SWON で使用する際は、運用方法を要検討の上、設定を行うこと。

○ SPPSW 接点入力用設定値 “MSIG” “MSIGON”

＜接続・切断の制御可能＞	
SPPSW MSIG	※ページングマイク用のパラメータではありません。 入力接点(A・B ピン)のショートにより接続・切断が可能。発信時の接続先はセレクタスイッチ指示位置による。 着信時、DLYCONN パラメータは無効になるため自動着信はしない。入力接点(A・B ピン)のショートで着信する。 このパラメータが設定されている時は、発信側でも着信側でも入力接点(A・B ピン)のオープンで切断が可能。
＜接続時のみ制御可能、切断はリモートからのみ＞	
SPPSW MSIGON	入力接点(A・B ピン)のショートにより接続・切断が可能。発信時はセレクタスイッチを任意に合わせ、入力接点(A・B ピン)のショートすると発信が可能。呼び出し中での断はできないので誤操作に要注意。 着信時は DLYCONN が有効になるため自動着信となる。 切断はリモートからしか行えず、接続先からの切断(電話機の ONHOOK や相手の入力接点オープン)か、ハイパーターミナル等からの HOOK コマンドで切断となる。MSIG 設定時にはマイクのスイッチは発信・切断用に使えたが、MSIGON 設定時は単純なマイクの ON/OFF 用となる。 ※PBSP でマイク・スピーカー同士で接続する運用で、どちらか一方を MSIGON にした時は、もう一方は TOGGLE か MSIG にすることを推奨。発着信どちらも MSIGON と SWON で使用する際は、運用方法を要検討の上、設定を行うこと。
＜スイッチ類の無効化＞	
SPPSW NONE	入力信号は常時無視。プッシュスイッチ・接点による接続・切断は行えない。

○ 接点出力用パラメータ “ OUTCTRL1 ”

syscnfg.ini ファイルにて "OUTCTRL1 mode parm" 設定をします。

用途によって” mode ”を選択し、” parm ”にて詳細設定を行います。

制御用設定 (mode : 1)

OUTCTRL1 1 0

主に制御用に利用することを想定としています。
着信時・発信時に ON となり通話時では ON のまま、切断完了で OFF に戻ります。
parm は 0 としてください。

着信表示用設定 (mode : 2)

*** 記述例 (parm は任意で変更可能)**

OUTCTRL1 2 5

着信してからリレーを ON する期間(単位:秒)を2つ目の引数(parm)で設定します。
左記だと着信時 5 秒間 ON となります。parm を 0 に設定した場合、着信時に ON となり通話開始で OFF に戻る設定になります。

以上